

# 新規試用医薬品(平成23年11月薬事検討委員会)

ティーエスワン配合顆粒 T20、T25  
 リオベル配合錠 LD、HD  
 レクサプロ錠 10mg  
 セルセプトカプセル 250mg  
 メドロール錠 4mg

薬品名	劇 処 ティーエスワン配合顆粒 T20、T25 ts-1	メーカー	大鵬薬品
		申請科	外 科
規格	T20(テガフル 20mg/包)、T25(テガフル 25mg/包)	一般名	テガフル・ギメラシル ・オテラシルカリウム配合剤
効能・効果	胃癌、結腸・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌		
用法・用量	通常、成人には初回投与量(1回量)を体表面積に合せて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の1日2回、28日間連日経口投与し、その後14日間休薬する。これを1クールとして投与を繰り返す。		
	体表面積	初回基準量(テガフル相当量)	
	1.25m <sup>2</sup> 未満	40mg/回	
	1.25m <sup>2</sup> 以上～1.5m <sup>2</sup> 未満	50mg/回	
1.5m <sup>2</sup> 以上	60mg/回		
なお、患者の状態により適宜増減する。増減量の段階を40mg、50mg、60mg、75mg/回とする。増量は本剤の投与によると判断される臨床検査値異常(血液検査、肝・腎機能検査)及び消化器症状が発現せず、安全性に問題がなく、増量できると判断される場合に初回基準量から一段階までとし、75mg/回を限度とする。また、減量は通常、一段階ずつ行い、最低投与量は40mg/回とする。			
使用目的及び理由	TS-1内服による化学療法のアドヒアランスの向上。消化管通過障害があっても内服が容易である。		
その他			

薬品名	処 リオベル配合錠 LD、HD liovel	メーカー	武田薬品
		申請科	内 科
規格	LD(25mg/15mg)、HD(25mg/30mg) (アログリプチン/ピオグリタゾン)	一般名	アログリプチン安息香酸塩/ ピオグリタゾン塩酸塩
効能・効果	2型糖尿病：ただし、アログリプチン安息香酸塩及びピオグリタゾン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る。		
用法・用量	通常、成人には1日1回1錠(アログリプチン/ピオグリタゾンとして25mg/15mg又は25mg/30mg)を朝食前又は朝食後に経口投与する。		
使用目的及び理由	DPP-4阻害薬ネシーナ 25mgと、LDはアクトス 15mg、HDはアクトス 30mgの配合錠。アドヒアランスがよく、薬価が安い。		
その他	院外限定での使用		

薬品名	劇 処 レクサプロ錠 10mg lexapro	メーカー	田辺三菱
		申請科	精神科
規格	10mg/錠	一般名	エシタロプラムシユウ酸塩
効能・効果	うつ病、うつ状態		
用法・用量	通常、成人にはエシタロプラムとして10mgを1日1回夕食後に経口投与する。なお年齢・症状により適宜増減するが増量は1週間以上の間隔をあけて行い、1日最高用量は20mgを超えないこととする。		
使用目的及び理由	大うつ病性障害患者を対象とする。セロトントランスポーターへの結合においてアロステリック増強作用を有し、セロトニン再取り込み阻害作用の選択性が極めて高い。故に脳内の細胞外セロトニン濃度を持続的に上昇させて抗うつ作用を示す。		
その他			

薬品名	劇 処 セルセプトカプセル 250mg cellcept	メーカー	中外製薬
		申請科	小児科
規格	250mg/cap	一般名	ミコフェノール酸モフェチル
効能・効果	腎移植後の難治性拒絶反応の治療 (既存の治療薬が無効又は副作用等のため投与できず、難治性拒絶反応と診断された場合) 下記の臓器移植における拒絶反応の抑制:腎移植、心移植、肝移植、肺移植、膵移植		
用法・用量	<p>1.腎移植の場合</p> <p>腎移植後の難治性拒絶反応の治療 通常、成人にはミコフェノール酸モフェチルとして1回1,500mgを1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 腎移植における拒絶反応の抑制 成人:通常、ミコフェノール酸モフェチルとして1回1,000mgを1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日3,000mgを上限とする。 小児:通常、ミコフェノール酸モフェチルとして1回300~600mg/m<sup>2</sup>を1日2回12時間毎に食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日2,000mgを上限とする。</p> <p>2.心移植、肝移植、肺移植、膵移植における拒絶反応の抑制の場合通常、成人にはミコフェノール酸モフェチルとして1回500~1,500mgを1日2回12時間毎に食後経口投与する。しかし、本剤の耐薬量及び有効量は患者によって異なるので、最適の治療効果を得るために用量の注意深い増減が必要である。</p>		
使用目的及び理由	腎移植術後の拒絶反応抑制のため、使用。今後対象患者の増加による上記薬剤の使用量増加が見込まれる。		
その他			

薬品名	処 メドロール錠 4mg medrol	メーカー	ファイザー
		申請科	小児科
規格	4mg/錠	一般名	メチルプレドニゾン
効能・効果	適応疾患が多岐にわたるため、省略(詳細は、添付文書等でご確認下さい。)		
用法・用量	通常、成人にはメチルプレドニゾンとして1日4~48mgを1~4回に分割経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。		
使用目的及び理由	腎移植術後の拒絶反応抑制のため、使用。今後対象患者の増加による上記薬剤の使用量増加が見込まれる。		
その他			

規制区分：毒：毒薬、劇：劇薬、麻：麻薬、向：向精神薬、処：処方せん医薬品  
習：習慣性医薬品、生：生物由来製品、特：特定生物由来製品、放：放射性医薬品